

土俵の周辺

—相撲の本あれこれ—

平成4年4月23日(木)～5月26日(火)

外国人力士の活躍や若花田・貴花田ブームで大相撲が人気です。当館でも相撲に関する資料を多く所蔵しています。今回の常設展示では、元力士が相撲の内幕を書いた本や、韓国やモンゴルの「相撲」を紹介した本など、相撲にまつわる本を展示いたします。

展示資料リスト

1. あるフンドシかつぎ一代記 戦中・戦後の相撲秘史

小島 貞二 著

東京 ベースボール・マガジン社 1991 266p

<KD971-E54>

著者の小島貞二氏は漫画家から出羽海部屋に入門(昭和12～15年)。その後雑誌記者となった。相撲や演芸に関する著書が多数ある。本書では双葉山時代の思い出を記す

2. とにもかくにも大相撲 コレクションにみる大相撲のうつりかわり

景山 忠弘 著

東京 ナンバーワン 1985 124p

<KD971-71>

著者は、番付、人形、手形、ポスターなど相撲コレクション1万点を収集。本書はその主なものを写真入りで紹介

3. 相撲おもしろちゃんこ鍋 元力士琴剣があかす相撲の世界

琴剣 著

東京 博栄出版 1991 79p

<KD971-E52>

元力士の琴剣が、自身の漫画で大相撲の世界を紹介している

